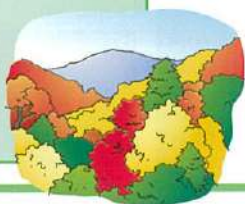


掛田自治協議会からのお知らせ 掛田の広場



第16号
2018年9月27日
掛田自治協議会
＜発行責任者＞
会長 佐藤隆昭



街中は優しい光に包まれて…



美音さんの歌声に誘われて
ひよっこ・おかめが躍ります

掛田自治協議会主催の第6回キャンドルナイトウォークは、8月13日街中で行われた。午後6時30分花火を合図に沿道の930本のペットボトルが灯され、別世界が広がった。それは、あたたかも宵盆の迎え火のようだ。行事も多催で、ひよっこと流し踊りを始め、趣向を凝らした5ヶ所ポイント会場、ガラポン抽選会では、1等賞品扇風機(5本)を5人がゲットして大喜び。また、金子町屯所では消防車の乗車体験、団員より氷水の提供もあり子ども達から大好評だった。



ヨッテミ前には、やまもり会の竹灯籠

第6回キャンドルナイトウォーク 楽しかった各ポイント巡り

「電球ソーダ」に興味
今年もお盆の13日、キャンドルナイト

やすまんしょポイント



多くの人出で大にぎわい

用意したものはアツという間に完売しました。

「ジュースどれにする？」慣れない私たちが声を張り上げ接待。そしてスタンプをポン！走って次のポイントに向かう子ども達を見送りました。

新町ポイント

輪投げを楽しむ

新町ポイントは、例年のように「輪投げゲーム」を準備してお客さんを待ちました。子どもは大人より近くから、大人はハンデで少し遠くから賞品をめがけて輪を投げる姿は真剣そのもの。皆さん大笑いしました。



笑いを誘った「輪投げゲーム」



「キラキラ100円クジ」は大人気の販売を行いました。

焼き鳥サービス

金子町ポイント

金子町ポイントでは、焼き鳥、ジュース、生ビールを用意して皆さんをお待ちしました。場所が町中から離れているので少々不安もありましたが、来ました！来ました！「焼き鳥1本サービスです。」「ジュースどれにする？」慣れない私たちが声を張り上げ接待。そしてスタンプをポン！走って次のポイントに向かう子ども達を見送りました。

また、ヨッテミ前ではひよっこ・おかめ踊りと歌手美音まさやさんのコラボもあり大勢の人が見入っていた。盆踊り大会等地域の人々は楽しいひとときを過ごした。各ポイントの催し内容等は次のとおり。

お知らせ

- 地域づくり部会研修会
10月14日(日) 会津三島町方面
- 『シルバー作品展』町老人クラブ連合会主催
11月3日(土)～4日(日) 町体育館
- 『健幸フェスティバル』りょうぜん楽しもう会主催
11月17日(土) ヨッテミ
- 『霊山町文化祭』町文化団体連絡協議会主催
11月24日(土)～25日(日)中央交流館

編集後記

日本列島は猛暑、台風、地震と連続して大災害に見舞われ、過去にないほどの甚大な被害を受けています。特に北海道地震は、7年半前の東北地震がよみがえり、他人事ではありません。一日も早い復興を願うばかりです。今回は、キャンドルナイトウォークをメインに、地域の行事を掲載しました。

お問い合わせ先 霊山中央交流館
電話 586-1314 FAX 586-3391
e-mail kakedajichikyougikai@aioros.ocn.ne.jp

キラリ輝く霊山女性講座

伊達市長を招き学習会

キラリ輝く霊山女性講座の第2回学習会は7月4日に霊山中央交流館で開催されました。講師に伊達市長の須田博行様をお迎えし、「地域の特色を活かした地域づくり」のテーマで講話を頂きました。道の駅「伊達の郷りょうぜん」の交流人口を増やし、地場産品の販売促進をすることや、受講生からは茶臼山の整備や子どもの村の活用、地域交通のことなど活発に意見を交換し、充実した学習会となりました。



市長さんの話しを熱心に聴く受講生

8月4日(土)下組若連は、今年も「納涼盆踊り」を開催。子どもが喜ぶ輪投げや射的の出し物、老若男女向きの模擬店が増えました。日が暮れて山車が輝きを増した頃から盆踊りの輪が大きくなり、地域の人々の心をつなぎました。

で当番制で手入れをしていく。終了後、推進員宅に集まり、お茶を飲みながら、よもやま話に花を咲かせた。



猛暑に耐え、きれいに咲きました

下組若連の盆踊り

老若男女向きの模擬店も

8月4日(土)下組若連は、今年も「納涼盆踊り」を開催。子どもが喜ぶ輪投げや射的の出し物、老若男女向きの模擬店が増えました。日が暮れて山車が輝きを増した頃から盆踊りの輪が大きくなり、地域の人々の心をつなぎました。



地域の絆を感じた下組若連手づくりの盆踊り

徳が森アジサイまつり

里山に歌声や演奏響く

アジサイまつりが徳が森で6月30日7月1日の両日猛暑の中で開催された。1日の「森のコンサート」では、地元の霊山りんどうコーラスを始め、梁川交響吹奏楽団のアンサンブル演奏、混声合唱・オカリナ・尺八の演奏など、里山に美しい歌声や演奏が響きわたった。また、混声合唱団「ひろせ」の皆さんから新曲「我が里山徳が森が披露された。当日の模様はインターネット・YouTube「2018徳が森あじさいまつり」で検索してみてください。



りんどうコーラスの皆さん

中町ポイント

水ヨーヨープレゼント

中町は「政宗伊達にクル」の上映会と、ピアガーデン。子ども達にプレゼントした水ヨーヨーは班長さん達が笑顔で作りました。準備から大いに盛り上がりました。元大工さんの佐藤正信さんは、この日を目標して制作してきた約50本の竹灯籠を玄関先に灯し、通りを行き交う人達が見事な細工に歩みを止めて見入っていました。



野外シアターとピアガーデン 楽しく会話も弾みました



蝶やアヤメ・もみじなどの細工が施され、電球も色を染め照明演出も工夫されていました。(佐藤さん宅)

北町ポイント

射的やトマトすくい

回を重ねるごとに帰省客や、子ども・若い人達も多く参加し、お盆の行事として定着しつつあります。成功裡に終了しました。北町は範囲も広くペットボタルのセットを完了したのは始まる10分前でした。後片づけも3名(他地区応援1名)で行い、大変でした。



今年は秋葉神社の境内で行なった

また、射的やトマトすくいも人手が足りなかった。今後は体制等も含め検討の余地があると感じました。

ガラポン抽選に一喜一憂

家族で各ポイントを楽しく巡り、5つのスタンプを集めて抽選会場に駆け込む。ガラポンを回し出る玉の色に一喜一憂、上位の玉が出ると突然鐘が連打され、びつくりする幼児、ニッコリ笑顔の父母など様々。用意した一等から三等まで55点の賞品は残らず出た。抽選者は300人で、今年も幼児、子どもが多く参加した。



一等賞!! 笑顔がこぼれます

ひよつとこ踊りに爆笑

今年3回目のひよつとこ姿で踊った。夕闇迫る街中、ペットボタルが灯る沿道音楽に合わせて首や手足を大きく振り上げながら練り歩いた。



来年はあなたの参加をお待ちしてま〜す!

盛況だった盆踊り

夜8時、ヨツテミ駐車場に約120本の竹灯籠が灯され、淡い光を放つ中、盆踊りが始まった。太鼓、笛、鐘の賑やかな音に寄せられ、所狭しと踊りの輪が広がりが大盛況だった。参加者が予想以上に多く準備した約100個の参加賞が不足し、急ぎよ追加する一幕もあった。



踊りの輪が二重三重に広がった

社会教育部会

会津の歴史を訪ねる研修会

8月7日、夏休みちびっこタイムトラベルを実施し20名が参加しました。飯盛山では、白虎隊19名が眠る墓に手を合わせ、白虎隊記念館で戊辰戦争の記録や残された遺品などを見学。会津藩校日新館では、白虎隊も学んだ「什の掟」を唱和した後、参加者全員が弓道を初体験、昔の時代へタイムスリップ。帰りのバス中では、到着時間当てクイズや子どもクイズで盛り上がりました。幕末の大変な戦いを再確認できた意義ある研修会となりました。



会津藩校日新館でハイパチリ

金婚夫婦を表彰

霊山町老人クラブ連合会主催の金婚夫婦表彰式は9月4日霊山中央交流館で行われ、町内10組の夫婦を祝った。



金婚を迎えられた10組の皆さんです

表彰状とおしどり金メダル、アルバム、夫婦茶碗、花鉢の記念品を贈った。式に続いて、金婚を祝う会が開かれ、金婚者らは、日本舞踊やスポーツ民謡、園児による鼓笛、和太鼓に楽しいひとときを過ごした。

掛田地区金婚夫婦は2組で◎安達文雄・光子様、◎阿部隆雄・玲子様。

ラジオ体操

毎回50人以上が参加

掛田自治協議会の社会教育部会では、6月から7月の毎日曜日に中央交流館駐車場でラジオ体操を行いました。「ラジオ体操で体づくりをしよう」と



心に響いた演奏会

吹奏楽部へ入部宜しくお願いします。

始まって3年目、今年も毎回50名以上が参加しての楽しい会となりました。埼玉から伊達市へ支援に来ている池内弥生さんの体操指導も好評でした。来年は「夏季ラジオ体操」への参加申し込みを予定しています。

七タコンサート

第19回を迎える

「地域に文化の息吹を育もう」をテーマに毎年多様なジャンルの方々に出演頂いていた「七タコンサート」。今年も第19回を迎え、また、霊山中学校統合50周年にあたるため、特別企画として霊山中学校吹奏楽部だけのスペシャルコンサートを、7月14日中央交流館で開催しました。

コンクールから1週間のステージという事で大会課題曲やポップス曲、演歌までご披露頂きました。来年は部員不足が心配…と寂しそうに一言。

霊山太鼓まつり

親子三代ファミリー太鼓

8月19日(日)は第34回霊山太鼓まつりでした。久しぶりに親子三代・ファミリーでの太鼓の演奏もあり、これぞ伝承太鼓の醍醐味という微笑ましいステージには拍手喝采でした。まつりを目指して帰郷した若者も多く霊山太鼓はまさしく「日本のこころ・ふるさとのまつり」になっているなど感じました。



34回の祭で育んだ女性の太鼓の打ち手が勢ぞろい華やかな女組(めぐみ)太鼓の演奏です

(保原総合運動公園にて)



太鼓まつりを目指して帰郷した若者も多く「ふるさと霊山」を全身で感じた一日となりました